

50年間の年表

この年表は本部・事務所に保管されている各種資料を照合しながら、
 発足以来50年にわたる活動記録をまとめたものです。
 小さな文字で記された一行一行には、企画・運営に携わった人、参加した人、
 さらには、支援して下さった多くの企業及び団体の存在が凝縮されています。
 併記した社会・テニス界の出来事とともに、連盟の歩みを辿っていただければ幸いです。
 発足当時の「女子連スピリット」が未来へ引き継がれていきますように。

元大会協力委員長 鈴木 則江

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事		
1967 (S42)	11	発足会議 全日本選手権大会の期間中、現役選手を中心に“女子のテニスは女子の手で”の思いを話し合ったことが女子テニス連盟結成の発端となる			2	日本庭球協会 津島寿一会長ご逝去(7日) 初の建国記念日(11日)	
		発起人22名 赤星・桑名・井上・宮城・遠藤・大浦・五端・原・石井・伊藤・飯田・近藤・村上三浦・西郷・佐藤・朝長・鳥井・多田・伴・武石・畠中			8	第5回ユニバーシアード大会、東京で開催(26日～9月4日)	
		入会金：100円 会費：6カ月300円 1年500円			11	沢松和子が史上最年少の16歳で全日本テニス選手権優勝	
1968 (S43)	1	女子テニス連盟が発足(10日) 略称：L T F 発足時会員数：78名 幹事長：桑名寿枝子 副幹事長：井上早苗・宮城黎子 幹事：19名	東京 78		2	第10回冬季オリンピック・グルノーブル大会(6日～18日)	
		趣旨書を配布(17日) 会場：田園テニス倶楽部(東京都) 発起人22名の連名で作成した趣旨書を第1回女子親善テニス大会の会場で配布			3	プロテニス選手の4大会出場を解禁 これによりテニス界がオープン化される	
		連盟発足記念親睦試合(第2回女子親善テニス大会)(28日) 会場：三菱銀行武蔵野グラウンドテニスコート(東京都) 桑名幹事長、井上・宮城副幹事長及び75名の会員名を記載した会員募集のパンフレットを参加者に配布			4	霞が関ビルがオープン(12日)	
	2	40歳以上のベテラン会員による紅白試合(7日) 会場：神宮テニスクラブ(東京都)			5	十勝沖地震 M7.9 (16日)	
		第1回女子初心者練習会(21日) 会場：神宮テニスクラブ(東京都) 参加：65名 以降、例年開催			6	文化庁発足(15日) 小笠原諸島が日本に復帰(26日)	
		第1回小・中学生練習会(28日・29日) 会場：三菱化成松濤テニスコート(東京都) 参加：午前53名、午後39名			7	郵便番号制スタート(1日)	
	3	第1回年少者トーナメント(男女シングルス 14歳と12歳の部)(1日～5日) 会場：三菱化成松濤テニスコート(東京都) 参加：112名 女子14歳以下で優勝した佐藤直子をはじめ、後に上位選手として活躍する少年・少女たちが出場している			10	第19回オリンピック・メキシコシティ大会(12日～27日) 川端康成がノーベル文学賞を受賞(17日)	
		女子テニス連盟創設の挨拶状を配布(15日) 配布先：協力役員、新聞社、テレビ局、中・高・学連、日本庭球協会傘下の地方団体			12	3億円事件発生(10日) 日本人が初めて南極点に到達(19日)	
		親睦会(10日) 会場：グリーンテニスクラブ(東京都) 参加：25名 会費：1,000円					
	4	第1回女子C級トーナメント(3日～7日) 会場：三菱化成松濤テニスコート(東京都) 名称の変遷はあるが、後に桑名杯となる大会 参加：単32名、複44組 「第2回L T Fトーナメント」「第5回L T F女子新人トーナメント」「第6 L T F女子新人トーナメント」「第12回桑名杯L T Fトーナメント」「第14回桑名杯トーナメント-LTF-」 以降1977年まで年2回開催			会員数 380		
		親睦会(18日) 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都) 参加費：500円					
		年少者、初心者練習会(22日～25日) 会場：三菱化成松濤テニスコート(東京都) 以降、例年開催					
年少者ダブルストーナメント(28日～30日) 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都) 参加：男子20組、女子10組							
活動資金調達のために映画会を実施(30日) 会場：朝日生命ホール(東京都) 上映映画：「見知らぬ乗客」「チャンピオンへの道」 入場料：一般300円、会員200円 会合を重ね、連盟の基礎作りと将来への展望について熱心に話し合った							
5	第1回計画委員会(27日) 会場：伊勢丹会館(東京都) 出席：20名	神奈川 15	5	東名高速道路全線開通(26日)			
	第2回年少者トーナメント(31日～4月4日) 会場：三菱化成松濤テニスコート(東京都) 参加：単107名、複45組		6	沢松和子が全仏のジュニア優勝			
	第2回計画委員会(15日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 行事別に委員会を設置することを決定		7	人類初の月面着陸(21日) 沢松和子が全英のジュニア優勝			
	朝日国際招待大会・選手の歓迎パーティーを開催(10日) 会場：神宮テニスクラブ(東京都) 参加：131名						
	第1回関東中学新人トーナメントを共催(16日～23日) 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都) 共催：関東中学テニス連盟・朝日生命厚生事業団・女子テニス連盟 1978年に名称が変更されるまで続く						
1969 (S44)	10	第1回関東中学新人トーナメント(1日) 会場：三菱化成松濤テニスコート、神宮テニスクラブ(東京都) 参加：単116名、複54組 日本庭球協会会長：松尾静廣氏よりカップの寄贈を受け、松尾杯と名付ける 以降、第6回まで毎年開催					
		第2回関東中学生新人トーナメント 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都) 朝日国際招待大会 選手の歓迎パーティーを開催(29日) 参加：約140名					
1970 (S45)	4	松尾杯・第3回年少者トーナメント(1日) 会場：三菱化成松濤テニスコート、神宮テニスクラブ(東京都) 参加：単116名、複54組 日本庭球協会会長：松尾静廣氏よりカップの寄贈を受け、松尾杯と名付ける 以降、第6回まで毎年開催					
		第2回関東中学生新人トーナメント 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都) 朝日国際招待大会 選手の歓迎パーティーを開催(29日) 参加：約140名	3	日本万国博覧会EXPO'70 開幕(14日)			
1971 (S46)	10	松尾杯・第4回年少者トーナメント(29日～4月7日) 会場：神宮テニスクラブ、三菱化成松濤テニスコート(東京都) 参加：単243名、複141組					
		デビスカップの選手激励会を選手会と共催(19日) 会場：岸記念体育会館スポーツマンクラブ(東京都) 参加：約100名 監督：渡辺康二 選手：柳恵誌郎、坂井利郎、神和住純、河盛純造、九鬼潤、小浦猛志、平井健一	11	東京で初のウーマン・リブ大会(14日)			
1971 (S46)	3	環境庁発足(1日)	7	環境庁発足(1日)			
		ドル・ショック(16日)	8	ドル・ショック(16日)			
		スミソニアンレート、1ドル=308円に	12	スミソニアンレート、1ドル=308円に			

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
1971 (S46)	5	第6回桑名杯LTF女子新人トーナメント(10日～13日・17日) 会場：三菱信託銀行上井草テニスコート(東京都) 参加：単42名、複33組 今大会より桑名杯の名称が付く(以降、年2回開催)			
	10	第3回関東中学生新人トーナメント(31日～12月12日)			
1972 (S47)	3	松尾杯・第5回年少者トーナメント(23日、24日、27日～30日) 会場：中原テニスクラブ(東京都) 参加：単61名、複42組	千葉	2	グアム島のジャングルで救出された横井庄一元軍曹が日本へ帰国(2日) 第11回冬季オリンピック・札幌大会(3日～13日) 連合赤軍・浅間山荘事件勃発(19日)
	4	会長：桑名寿枝子 副会長：井上早苗・宮城黎子		3	山陽新幹線(新大阪～岡山) 開業(15日)
	5	女子庭球連盟5周年記念親睦会 会場：日本興業銀行浜田山テニスコート(東京都)		5	沖縄施政権返還、沖縄県が発足(15日)
	10	第4回関東中学生新人トーナメント(22日～11月19日) 会場：朝日生命久我山テニスコート、聖心女子学院テニスコート(東京都)		8	日本プロテニス協会設立(16日) 第20回オリンピック・ミュンヘン大会(26日～9月11日)
				9	ATP設立
1973 (S48)	2	学連との親睦会(14日)	会員数 454	10	第1回ジャパンオープン大会開催(10日～15日)
	3	松尾杯・第6回年少者トーナメント(22日、23日、26～29日) 会場：三菱化成松濤テニスコート(東京都)		12	日本庭球協会会長の松尾静磨氏ご逝去(31日)
	4	春の親睦会(15日) 会場：三菱銀行武蔵野テニスコート(東京都)		1	ベトナム和平協定調印(27日)
	10	秋の親睦会(19日) 会場：グリーンテニスクラブ(東京都) 第5回関東中学生新人トーナメント(21日～12月2日) 会場：朝日生命久我山テニスコート、聖心女子学院テニスコート(東京都) 入会金：500円 会費：1,000円		5	東レシルック(現：東レPPO) 大会開催 キング夫人の提唱によりWTA設立
				7	日航機ハイジャック事件(20日)
1974 (S49)	2	第1回女子新人東西対抗戦(19日) 会場：田園テニス倶楽部(東京都) 関西地区と毎年交互に1979年第6回まで開催 第4回より「東西女子親善テニス」に名称変更	会員数 760	10	江崎玲於奈がノーベル物理学賞を受賞(23日) 石油ショック(25日) 第2回ジャパンオープンがATPツアーの公式戦になる
	3	映画「ローズウォールクリニック」の上映と講演会を開催(30日) 会場：中野文化会館(東京都) 関東ジュニア選手権大会の14歳以下、12歳以下に女子庭球連盟から運営委員を派遣(28日～4月1日) 前年までの6年間、女子庭球連盟が開催していた年少者トーナメントと同じカテゴリーが関東ジュニア選手権大会に組み込まれた 会場：神宮テニスクラブ・石神井ローンテニスクラブ・聖心女子学院コート(東京都)		12	物価急上昇
	9	LTF会報第1号を発行 第4号まではA4版		3	ルバンク島で小野田寛郎元陸軍少尉を救出(10日)
	10	第6回関東中学生新人トーナメント(13日～11月24日) 会場：聖心女子学院テニスコート、青山学院テニスコート、朝日生命久我山テニスコート(東京都)		5	沢松和子がプロに転向
				7	新聞の朝刊が30円から50円に値上げ
1975 (S50)	3	1974年度定時総会&懇親会(31日) 会場：日本興業銀行浜田山テニスコート(東京都) 女子庭球連盟本部は支部と協力しウィンブルドン優勝の沢松選手に記念品を贈呈	埼玉	10	佐藤栄作前首相がノーベル平和賞を受賞(8日)
	9	LTF会報第2号を発行		5	日本女子登山隊の田部井淳子が女性として初のエベレスト登頂に成功(16日)
	10	ヤマハつま恋親睦旅行(1日・2日) 参加：約50名 第7回関東中学生新人トーナメント(13日～) 会場：朝日生命久我山テニスコート、聖心女子学院テニスコート(東京都) 参加：男子243名、女子186名		7	沢松和子・アン清村組がウィンブルドン・ダブルスで優勝(5日) 沖縄国際海洋博覧会開幕(19日)
		秋の親睦会(30日) 会場：武蔵野三菱銀行テニスコート(東京都) 参加費：200円			
		1月、2月、4月、7月、9月に企画委員会を開催			
1976 (S51)	1	創立10周年記念としてフェデレーションカップの日本開催が可能かどうかについて、会長・副会長が庭球協会と相談することを決定(21日) 会場：岸記念体育会館(東京都)		2	第12回冬季オリンピック・インスブルック大会(4日～15日)
	3	春の懇親会(29日) 会場：日本興業銀行浜田山テニスコート(東京都)		4	南北ベトナム統一(25日)
	5	40懇親会 会場：鎌倉宮カントリーテニスクラブ(神奈川県) 参加：84名 神奈川県主催で東京都と神奈川県の40歳以上の親睦会後に名称や内容も変わったが、賛助会員との懇親は現在も続いている		7	第21回オリンピック・モントリオール大会(17日～8月1日)
	9	1975年度定時総会と秋の懇親会(21日) 会場：三菱銀行武蔵野テニスコート(東京都)		9	総人口の8.1%が65歳以上と総理府統計局が発表(14日)
	10	第8回関東中学生新人トーナメント(17日～11月28日) 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都) 参加：男女共128名		11	天皇在位50年式典(10日)
1977 (S52)	5	LTF会報第3号を発行・会員名簿作成：200円 女子庭球連盟10周年記念親睦会&1976年度定時総会(24日) 日本女子庭球連盟と改名(略称：JLTF) 会場：三菱銀行吉祥寺グランドコート(東京都) 出席：157名 規約策定、本部組織と東京支部組織を明確に分ける新機構に移行	岡山	6	樋口久子が全米女子プロゴルフで日本人初の優勝(12日)
	6	10周年記念パーティー(18日) 会場：神宮テニスクラブ(東京都) 出席：138名		8	有珠山が大噴火(7日)
	7	日本女子庭球連盟・本部役員会(16日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 出席：11名		9	王貞治が756本の本塁打世界最高記録を樹立(国民荣誉賞第1号受賞)(3日) 日本赤軍が日航機をハイジャック(28日)
	9	秋の親睦会と臨時総会(13日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 日本女子庭球連盟・本部役員会(14日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 出席：20名		11	新潟市で横田めぐみさんが行方不明に(15日)
	10	第19回桑名杯トーナメントーJLTFー(3日～7日) 会場：石神井ローンテニスクラブ(東京都) 参加：B級28組、C級170組 (以降は東京支部主催となり、名称も「第1回JLTF東京大会」に変更)			

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
1977 (S52)	10	日本女子テニス連盟事務所開設(23日) 調布市の秋山氏別棟を借用(2年後に閉鎖)			
		'77銀座松坂屋カトレアレディースオープン【J L T F 後援大会】(24日～29日)			
	シンボルマーク完成 デザイン:アートディレクター金原明彦氏				
	12	L T F 会報第4号を発行			
1978 (S53)	1	日本女子テニス連盟の本部機構発足 会長:桑名寿枝子 副会長:井上早苗・武石文枝 理事長:宮城黎子 副理事長:飯田藍	愛媛	1	伊豆大島近海で地震 M7.0 (14日) 総理府が初の「婦人白書」発表
	2	バザー開催(13日) 会場:中野区桃園出張所(東京都) 主催:日本女子テニス連盟 協力:東京支部 本部常任理事会(初開催)(22日) 会場:岸記念体育会館(東京都) 出席:12名		4	植村直己が単身犬ぞりで大極点到達(30日)
	3	本部理事会(初開催)(22日) 会場:連盟本部事務所(東京都)		5	新東京国際空港「成田空港」開港(20日)
	4	第1回ジュニアサンデースクール開校【10回コース】 会場:桜田倶楽部(東京都) 3期で終了 関東テニス協会にジュニア委員会が誕生し、飯田・井上・藤井が常任委員となる		6	宮城県沖地震 M7.5 (12日)
	6	青森県支部発足準備のため、井上副会長と宮城理事長を派遣(17日・18日)		7	円が急騰、初の1ドル200円割れ(24日)
	9	J L T F 会報第1号発行 B5判で小冊子形式に変更 以降毎年1回発行('81、'83は2回発行)		10	第1回セイコースーパーテニス開催 1995年まで開催
	10	第1回J L T F チャンピオン大会—東京大会—(16日～19日) 会場:桜田倶楽部(東京都)		12	全豪オープン一般女子ダブルスで 佐藤直子・ホワイトクロス組が準優勝 (25日～1979年1月3日)
	11	関東ジュニア新人トーナメント 会場:朝日生命久我山コート、聖心女子学院コート(東京都) 関東中学新人トーナメントから名称を変更			
		本部常任理事会(17日) 役員改選・行事・トーナメント参加料・支部人会金等について討議			
		賛助会が発足 韓国の女子テニス連盟より親善試合の申し出を受け、検討することになる			
	1979 (S54)	2		本部常務理事会(常任理事会より名称変更)(9日) 会場:岸記念体育会(東京都) 韓国との親善の連絡は赤星委員が担当し、役員3名と選手7名を派遣することに決定 (ベナント・ワッペン等も決める)	北海道 秋田 茨城 静岡 青森 栃木
		賛助会の発足後、初めてとなる懇親会を開催(21日) 会場:朝日生命久我山コート(東京都) 参加:36名	3	米スリーマイル島の原子力発電所で事故(28日)	
5		第1回日韓親善女子テニス大会(28日～6月5日) 会場:韓国女子テニス連盟コート(ソウル市) 役員:桑名・井上・飯田 選手:金原・村野・白砂・天野・榎崎・下島・岸 この後、日韓交互で毎年開催し現在に至る('81、'86、'87を除く)	5	イギリスで先進国初の女性首相、 サッチャー首相が誕生(4日) 国鉄初乗り運賃80円が100円に	
6		第6回東西女子親善テニス(7日) 会場:夙川ラケットクラブ 今回で終了	8	郵便貯金のオンライン化開始(1日)	
8		第1回夏休み母と子のテニストーナメント(29～31日) 会場:国立競技場テニスコート(東京都) 主催:朝日新聞社 協力:日本女子テニス連盟 参加:64組(母と小・中学生)	10	木曾御嶽山が史上初噴火(28日)	
9		キング夫人のテニスのつどい(19日) 会場:品川プリンス 高輪スポーツクラブ(東京都) 参加:井上・宮城・飯田・米沢・藤倉・金原と100人を超すテニス愛好家 主催:朝日新聞社 キング夫人によるワンポイントレッスン会も開催	11	第1回東京国際女子マラソン(18日)	
11		第1回全国レディーズ硬式テニス決勝大会(12日～15日) 会場:高輪スポーツクラブテニスコート(東京都) 主催:日本テニス協会、朝日新聞社 後援:(財)日本体育協会 協力:日本女子テニス連盟 協賛:味の素株式会社、味の素ゼネラルフーズ株式会社(第3回まで) 会場協力:品川プリンスホテル、高輪スポーツクラブ “47都道府県すべてに支部を!”の目標達成に向けて協力を始めたこの大会開催により全国の テニス愛好者との距離が縮まり、参加支部が年々増えた	12	ソ連がアフガニスタンに侵攻(27日)	
		関東ジュニア新人トーナメント 委員として小川・薄・藤井・金原・芥川・神崎を派遣 フェデレーションカップ壮行会 会場:岸記念体育会館スポーツマンクラブ(東京都) 選手を佐藤直子、米沢その江、野村貴洋子、チーム監督を宮城黎子理事長が務める (1978年～1982年)			
1980 (S55)	5	賛助会員と会員の懇親会(27日) 会場:グリーンテニスクラブ鶴川(東京都) 参加:賛助 25名、会員 約30名	大分 京都 沖縄	2	第13回冬季オリンピック・レイクプラシッド大会(13日～24日) 日本テニス協会が「勸日本テニス協会に名称変更 第9代会長に小坂徳三郎氏が就任
		第2回日韓親善女子テニス交歓競技大会(5月27日・28日) 会場:東京都 桜田倶楽部(東京都) 【韓国チーム】 団長:柳明叔 副団長:林源玉 監督:韓福實 12名 【日本チーム】 団長:桑名寿枝子 監督:木村洋子 16名		7	第21回オリンピック・モスクワ大会 (19日～8月3日) 日本は不参加
		ワンデイトーナメント 賛助会員と会員の親睦会 会場:江戸川台テニスクラブ(東京都)		9	イラン・イラク戦争勃発(9日)
	10	賛助会員と会員の親睦会(20日) 会場:鎌倉シーサイドテニスクラブ(神奈川県)		10	国勢調査実施【人口1億1706万396人】(1日)
	11	第2回全国レディーズ硬式テニス決勝大会(10日～13日) 会場:トビレックプラザテニスコート(東京都) 日刊スポーツ新聞社が後援に加わる			
	S I A ビリージーン・キングジュニアマッチの手伝い 会場:グリーンテニスクラブ鶴川(東京都) 10歳以下2名、12歳以下2名の選手が選ばれ、キング夫人の主審でエキジビションマッチを行なった。参加者全員に1時間半のクリニックを実施				
1981 (S56)	3	映画会開催(25日) 会場:朝日生命ホール(大阪府) フェデレーションカップ支援のために「リトル・モー」【ウィンブルドン100年祭】を上映	福島 滋賀	2	ローマ法王初来日(23日)
	4	日本女子テニス連盟に改名 会費:1支部1万円		3	中国残留日本人孤児初来日(2日) 神戸ポートピア'81開幕(20日)
	5	桑名寿枝子会長の米寿を祝う会(19日) 会場:桜田倶楽部(東京都) 参加:150名 賛助会員を招待し、各支部からも多数が出席 米寿を記念して桑名会長は私費で桑名杯の優勝カップを各支部に寄贈 各支部で桑名杯トーナメントが開催されるようになり現在に至る		7	広告付きはがき、35円で発売
			10	福井謙一がノーベル化学賞受賞(19日) 宅配便が郵便小包の取り扱い数を抜く	

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
1981 (S56)	7	第3回夏休み母と子のトーナメント(24日・25日) 会場：トビレックプラザテニスコート(東京都) 参加：中学生55組、小学生40組 今回より東京支部主催となる			
	8	JLTF会報第4号発行 支部だよりの掲載を始める			
	11	フェデレーションカップ'81(9日～15日) 東京にて開催 会場：多摩川園ラケットクラブ(東京都) アジアで初の開催 準備段階から各支部や個人から寄付が集まりJLTF本部から100万円を寄付 これらの協力に対して(財)日本テニス協会小坂徳三郎会長より感謝状を拝受			
		第3回全国レディーステニス決勝大会(17日～20日) 会場：トビレックプラザテニスコート(東京都) 名称から硬式が省かれる			
	12	沖繩親善旅行(1日～3日) 参加：40名 桑名会長の米寿、武石副会長の喜寿を記念して沖繩支部を訪問 会費：関東7支部は1名300円、他は1支部1万円			
1982 (S57)		会長：桑名寿枝子 副会長：井上早苗・武石文枝 理事長：宮城黎子 副理事長：飯田監・藤倉喜代 宮城黎子理事長が財団法人となった日本テニス協会において初の女性理事に就任 日本庭球協会当時の女性理事経験者：桑名寿枝子(S45～55) 井上早苗(S55～56)	愛知 福岡 宮崎 富山 佐賀	2	ホテル・ニュージャパン火災(8日)
	4	第3回日韓親善女子テニス大会(29日～5月6日) 会場：桜田倶楽部(東京都) 【韓国チーム】 団長：柳明叔 監督：韓福實 選手14名 【日本チーム】 監督：伊波昭子 選手18名		4	500円硬貨が新登場(1日)
	6	桑名杯の支部旗を各支部に贈呈 桑名会長の“初心者にこそチャンスを与え、勇気付け、励ましたい”という志をもとに 誕生したのが桑名杯		6	東北新幹線開通(大宮～盛岡)(23日)
	11	第4回全国レディーステニス決勝大会(9日～12日) 会場：トビレックプラザテニスコート(東京都) 協賛なしで開催		7	九州北西部で集中豪雨災害(23日)
1983 (S58)	10	第4回日韓親善テニス大会(2日～4日) 会場：市営コート(ソウル市) 団長兼監督 渡辺美江子 選手12名	岩手 長崎 熊本 広島 鹿児島 高知 石川	11	上越新幹線開通(大宮～新潟)(15日)
	11	JLTF会報第8号発行 JLTF15年の歩みを掲載 第5回全国レディーステニス決勝大会(8日～10日) 会場：トビレックプラザテニスコート(東京都) 協賛なしで開催			
	12	日本女子テニス連盟は(財)日本テニス協会の傘下団体となる 全国代表者会議(12日) 会場：高輪スポーツセンター(東京都) 出席：39名		3	中国自動車道全線開通(吹田～下関)(23日)
		財団法人日本テニス協会創立60周年記念祝賀会にて(12日) 会場：新高輪プリンスホテル 飛天の間(東京都) 桑名会長と木本豊子が財団法人日本テニス協会の功労賞を受賞 吉田和子さんが栄誉賞を受賞		4	東京ディズニーランド開園(15日)
1984 (S59)	4	1983年度定時総会・理事会 会場：岸記念体育会館(東京都) 出席：25名 規約一部改正 桑名杯委員会を設置	長野 山形	5	有明テニスの森公園開園(14日) 日本海中部地震 M7.7(26日)
	6	第5回日韓親善テニス大会(4～6日) 会場：ウィンブルドン九州テニスクラブ(佐賀県) 【韓国チーム】 団長：柳明叔 監督：林源玉 総勢14名 【日本チーム】 団長：白浜蘭子 監督：古川キヌエ 選手12名		10	井上悦子がジャパンオープンで優勝 全日本選手権で雉子牟田明子が女子史上最年少 で優勝(15歳4カ月)
		北海道支部5周年記念行事への参加旅行で親睦を深める(12日～14日) 参加：27名 全国支部代表者会議 会場：新宿ニューシティホテル(東京都) 出席：32支部		11	佐々木七恵が東京国際女子マラソンで日本人 初の優勝(20日)
	11	第6回朝日レディーステニス全国決勝大会(6日～8日) 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都) 全国レディーステニスより名称変更 朝日生命保険相互会社が協賛となる テレビ朝日が後援に加わる		12	(財)日本テニス協会創立60周年祝賀会(12日)
	12	第1回東レパン・パシフィック・オープンに協力(11日～16日) 会場：東京体育館(東京都) 設立当初からの“女子の大会は女子の手で運営しよう”という望みを実現し、元全日本選手と東京・神奈川支部の会員が線審を担当 次大会からは競技運営への協力を開始 会費：全支部一律で1名200円の個人会費に変更		2	第14回冬季オリンピック・サラエボ大会 (8日～19日)
				3	グリコ森永事件(18日)
				7	ブリチストン国際女子テニスサーキット始まる
1985 (S60)	2	朝吹磯子名誉会員(朝吹常吉日本庭球協会初代会長夫人) 逝去(15日)	群馬 新潟 香川 山口 和歌山	9	第23回オリンピック・ロサンゼルス大会 (28日～8月12日)
	4	1984年度定時総会・全国理事会 会場：岸記念体育会館(東京都) 大型の女子連旗を披露		10	長野県西部地震 M6.8(14日)
	4	紀文レディースカップ決勝大会(23日) 会場：よみうりテニスガーデン(神奈川県) 桑名杯を三菱自動車工業株式会社が特別協賛し「MMC桑名杯フレッシュレディーステニス」に 名称変更 この名称で'92まで開催		11	岡本綾子が全英女子オープンゴルフで優勝 (6日)
	5	九州旅行・九州地区支部役員との懇親会 参加：30名		12	千円・5千円・1万円の新紙幣発行(1日)
	6	第6回日韓親善テニス大会(3日～5日) 会場：市営コート(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：宋光子 監督：韓福實 選手10名 【日本チーム】 監督：白浜蘭子 選手10名			第1回東レPPO開催(11日～16日)
	10	国際女子テニスの大イベントであるフェデレーションカップ'85にあたり、 本部より選手に30万円、愛知県支部に20万円の助成金を贈る 会場：名古屋グリーンテニスクラブ(愛知県)			国鉄最低料金が130円に
1986 (S61)		第1回全国普及指導委員会(7日・8日) 会場：名古屋セントラルホテル(愛知県) 出席：48名 趣旨説明(飯田・宮城) / 世界の女子テニス(宮城) / 大会の運営と審判(伊波) / 幼児期のテニス導入法(飯田) 他 第23回フェデレーションカップ観戦 会場：名古屋グリーンテニスクラブ(愛知県)	宮城 三重 大阪 山梨	3	東北・上越新幹線、上野始発となる(14日) 科学万博「つくば博」開幕(16日)
	11	第7回朝日レディーステニス全国決勝大会(6日～8日) 今回より日本女子テニス連盟が主管となる 女子連バジ完成		4	NTT、JT発足(1日)
	3	四国旅行・四国地域会員との親睦テニス(17日～20日) 参加：23名		8	第13回ユニバーシアード、神戸で開催 (24～9月4日)
	4	第2回全国普及指導委員会(9日・10日) 会場：新宿ニューシティホテル 出席：35支部 49名 レイティングについて/日本の女子プロトーナメント/トーナメント管理マニュアル/審判について		8	第1回ワールドユースカップ (現：ジュニア・デビスカップ) 神戸で開催
			8	日航ジャンボ機が御巢鷹山に墜落(12日)	
			11	国鉄最低料金が140円に	
				藤倉五郎(財)日本テニス協会専務理事 (元テ杯選手) 逝去(16日)	
				第2回ワールドユースカップ (現：ジュニア・デビスカップ) 東京で開催	

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
1986 (S61)	4	1985年度定時総会・全国理事会 会場：岸記念体育会館(東京都)		9	社会党・土井たか子が日本初の女性党首に(6日)
		紀文レディースカップ決勝大会(24日) 今回で終了 会場：よみうりテニスガーデン(神奈川県)		11	伊豆大島の三原山が209年ぶりに大噴火(15日)
	6	第1回関東地区審判講習会(10日・11日) 会場：品川プリンスホテル(東京都) 参加：250名 長谷川統一氏による講演と実技指導			
	7	九州地区審判講習会(26日・27日) 会場：福岡国際ローンテニスクラブ(福岡県) 参加：67名			
	9	主審講習会(3日) 会場：桜田倶楽部(東京都) 参加：東京都・千葉県・神奈川県・埼玉県の各支部会員			
	11	賛助会員を再募集するか、自然消滅するかについて常務理事会で検討し委員会組織として存続することに決定			
1987 (S62)	3	第3回全国普及指導委員会(11日・12日) 会場：横浜プラザホテル、サントリーテニスクラブ(神奈川県) 出席：42名 主審講習会(長谷川統一氏) / 全国指導者ミーティング	徳島 島根	3	53年間にわたる南極捕鯨が終了(14日)
	5	全国理事会(20日) 会場：赤坂ザ・フォーラム(東京都) 出席：支部37名 本部20名(支部兼任6名) 委員会制度が完結(審判・普及指導・朝日レディース・桑名杯・賛助会・会報・親睦)		4	国鉄の分割と民営化でJRスタート(1日) 有明コロシアム完成 ボストンマラソンで瀬古利彦優勝(20日)
	10	創立20周年祝賀会・全国理事会(20日) 会場：赤坂ザ・フォーラム(東京都) 出席：170名 日本女子テニス連盟20年史 1,500冊発行		5	井上悦子、世界ランク28位
		1986年度定時総会 会場：岸記念体育会館(東京都) 出席：支部13名 本部役員17名		10	利根川進がノーベル医学・生理学賞受賞(12日)
		つま恋20周年記念親睦会(19日～21日) 会場：ヤマハつま恋(静岡県) 参加：313名 親睦委員会が開催 ハンディキャップテニスへの協力を始める			
	10	賛助会委員会を賛助後援委員会に名称変更			
1988 (S63)	3	JFTL会報第12号発行 会報委員会が初担当 20周年記念特集 以後、毎年1回発行	福井	1	第4回冬季パラリンピック・インスブルック大会(17日～24日)
	4	第4回全国普及指導委員会(9日・10日) 会場：新高輪プリンスホテル、高輪テニスセンター(東京都) 出席：58名 ショートテニスについての講習		2	第15回冬季オリンピック・カルガリー大会(13日～28日)
	5	賛助後援委員会と親睦委員会(国内)を一歩化することに決定(25日)		3	青函トンネル開業(13日) 屋根付き球場「東京ドーム」落成(17日)
	9	第5回東レパン・パシフィック・オープン(26日～5月1日) 会場：湘南スポーツセンター(神奈川県)、青山学院記念館(東京都)		4	瀬戸大橋が開通(10日)
	11	1987年度定時総会 会場：岸記念体育会館(東京都) 出席：53名 会長：桑名寿枝子 副会長：井上早苗・武石文枝・宮城黎子 理事長：飯田藍 副理事長：藤倉喜代・伊波昭子 全国地域連絡会制度が完結(会則作成) 北海道・東北・関東・北信越・東海・関西・中国・四国・九州の9地域に分け、各地区に地域代表幹事をおく 会員との親睦テニス旅行(16日～18日) 能登・北陸路		7	自衛隊潜水艦なだしお事故(23日)
		福田雅之助氏夫人である福田富美子名誉会員ご逝去		9	第24回オリンピック・ソウル大会(17日～10月2日) 64年ぶりにテニスが正式競技として復活 昭和天皇の病状が悪化(19日)
	第10回朝日レディーステニス全国決勝大会(8日～11日) 会場：朝日生命久我山テニスコート(東京都)	10	第8回パラリンピック・ソウル大会(15日～24日) この年より夏季オリンピックとパラリンピックが同一都市で開催されることになった 沢松奈生子が15歳6カ月で全日本優勝		
	10	10回目を記念して第7回日韓親善テニス大会を同時開催(11日) 韓国女子テニス連盟は裴俊英会長が就任し、新体制のもと日韓親善大会を再開 【韓国チーム】 団長：韓福實 【日本チーム】 監督：小田晶子 今大会以降、選手は各チーム6名で構成			
		賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(28日・29日) 会場：ホテル日光ジャパン(栃木県) 参加：30名	会員数 24,202		
1989 (H1)	3	第5回全国普及指導委員会(13日・14日) 会場：新高輪プリンスホテル、高輪テニスセンター(東京都) 出席：82名 ルールとレフェリーについて(姫井義也氏) / テニス実技指導	岐阜 兵庫	1	昭和天皇崩御(7日) 平成に改元(8日)
	4	1988年度定時総会・全国理事会 会場：岸記念体育会館(東京都) 出席：57名		3	フィギュアスケート世界選手権で 伊藤みどりが日本人初の優勝(18日)
	6	女子連手帳作成(平成2年度版) 以後、毎年作成		4	一般消費税、税率3%でスタート(1日) 岡本久美子がジャパンオープンで優勝
	7	第8回日韓親善テニス大会(18日～21日) 会場：市営コート(ソウル市) 【日本チーム】 団長：藤倉喜代 監督：橋崎富子 賛助後援会員親睦旅行も併催		6	中国・天安門事件(4日)
	10	賛助後援会・法人会員との懇親会(7日) 会場：テラス・ジュレ(東京都) 出席：不明 日頃からご支援くださっている各団体、各企業の皆様方をお招きし、感謝の気持ちを込めて開催 以降、毎年開催 1992年より「関連企業との懇親会」に名称変更		10	全日本テニス選手権で谷沢英彦が 男子最年少優勝(17歳9カ月)
		夏休み母と子のテニストーナメント 今回から「祖母と孫の部」を認める		11	ベルリンの壁が崩壊(9日)
	第27回フェデレーションカップ'89にJLTFが多面で協力 全国からジュニア35名を招待し会員有志がホームステイを引き受ける チケット3,500枚販売。審判と競技運営に携わる 会場：有明テニスの森テニスコート	12	田園コロシアム閉鎖		
	10	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(17日・18日) 会場：グリーンテニスクラブ須玉(山梨県) 参加：32名	会員数 25,617		
1990 (H2)	3	第6回全国普及指導委員会(5日・6日) 会場：新高輪プリンスホテル、品川プリンス室内コート(東京都) 出席：79名 コートレフェリーとトーナメント運営について(姫井義也氏) / テニス実技指導	鳥取 奈良	1	大学入試センター試験スタート(13日)
	4	1989年度定時総会・全国理事会 会場：岸記念体育会館(東京都) 名誉会長：桑名寿枝子 会長：井上早苗 副会長：宮城黎子・藤倉喜代・村上照子 理事長：飯田藍 副理事長：伊波昭子・丹野緑		4	国際花と緑の博覧会が大阪で開催(1日) 沢松奈生子がシンガポールオープンで優勝
	6	第9回日韓親善テニス大会(19日～21日) 会場：高輪テニスセンター(東京都) 【韓国チーム】 監督：朴玉順 【日本チーム】 監督：太田由利子		10	バブル経済崩壊(1日) 統一ドイツ誕生(3日)
				11	雲仙普賢岳が200年ぶりに噴火(17日)
			12	秋山豊寛、初の日本人宇宙飛行士として、ソ連のソユーズTM11号で9日間の宇宙滞在(2日)	

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事		
1990 (H2)	7	リーボック杯・母と子のテニストーナメントが各地で始まる 以降、6年間協賛 ニチレイレディース'90 (国際大会) に協力 後にトヨタプリンセスカップに移行	会員数 27,802				
	10	全国47都道府県支部のJLTF本部加盟が完了 賛助後援会・二泊親睦テニス旅行会(29日～31日) 会場：リゾートホテル オリビアン小豆島(香川県) 参加：17名					
	11	国際テニス連盟(ITF) 公認審判員資格(ホワイトバッヂ) を13名のJLTF会員が取得					
1991 (H3)	12	第1回東急レディステニス全国大会(4日) 会場：多摩川園ラケットクラブ(東京都) 主催：東急グループ 後援：(財)日本テニス協会 主管：日本女子テニス連盟 協力：東急スポーツ 1998年より東急読売レディスに名称変更し、2002年まで開催	会員数 30,191	1	橋本聖子が第59回全日本スピードスケート女子総合で10連覇(6日) 湾岸戦争勃発(17日)		
	3	第7回全国普及指導委員会(6日・7日) 会場：新高輪プリンスホテル、高輪テニスセンター (東京都) 出席：62名 ルール改正の説明と競技運営/保険の必要性/人材バンクについて/大会役員の仕事/地域の活動について 他		5	杉山愛がITFジュニアランキングで日本人初のNo.1		
	4	1990年度定時総会・全国理事会 会場：岸記念体育会館(東京都)		6	雲仙・普賢岳で大火砕流発生(3日) フィリピン・ピナツボ火山が今世紀最大の大噴火(9日) 東北・上越新幹線が東京駅乗り入れ開始(20日)		
	6	第10回日韓親善テニス大会(4日～6日) 会場：良オテニスコート(ソウル市) 【韓国チーム】監督：朴玉順 【日本チーム】団長：村上照子 監督：金堂君枝		8	14歳以下国別対抗戦『第1回ワールドジュニアテニス』山中湖で開催 有明コロシアムに開閉式屋根を設置		
	10	47支部(全都道府県) 結成記念親睦大会(20日・21日) 会場：ヤマハつま恋(静岡県) 参加：344名 第2回地域連絡会幹事会 会場：岸記念体育会館(東京都) 地域の現状報告/ブロックの分け方/アンケート調査について		10	久我山にナショナルトレーニングセンター		
	11	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(15日・16日) 会場：富士本栖湖ホテル(山梨県) 参加：35名 会員証となるテレフォンカードを作成 国際テニス連盟(ITF) 公認国際審判員の資格『ブロンズバッヂ』をJLTF会員4名が取得		12	ソビエト連邦解体(30日)		
1992 (H4)	1	全豪オープンで初めてJLTF会員7名が審判員を務める	会員数 33,170	2	第16回冬季オリンピック・アルペールビル大会(8日～23日)		
	3	第8回全国普及指導委員会(9日・10日) 会場：新横浜国際ホテル、新横浜インドアコート(神奈川県) 参加：90名 ルール改正の説明/支部の活動報告/ワンポイントレッスン		3	第5回冬季パラリンピック・アルペールビル大会(25日～4月1日) この年より冬季もパラリンピックが同一都市で開催されることになった		
	4	1991年度定時総会・全国理事会(11日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 出席：64名 規約一部改正 名誉会長：桑名寿枝 会長：井上早苗 副会長：宮城黎子・藤倉喜代・村上照子 理事長：飯田藍 副理事長：伊波昭子・丹野緑・小田晶子		4	伊達公子がジャパンオープンで優勝 平木理化・A.フレイジャー組がダブルス優勝 松岡修造が韓国オープンで日本男子初となるATPツアー優勝(27日)		
	5	第11回日韓親善テニス大会(26日～28日) 会場：小畑川中央公園(京都府) 【韓国チーム】団長：韓京辰 監督：朴玉順 【日本チーム】団長：井上早苗 監督：鈴木けい子		6	PKO協力が成立(15日)		
	7	石黒民子がオリンピック(バルセロナ) で日本女性として初めて線審を務める		7	山形新幹線開業(1日) 第25回オリンピック・バルセロナ大会(25日～8月9日) 14歳の岩崎恭子が競泳の200メートル平泳ぎで金メダル		
	8	鈴木澄子がUSオープンで日本女性として初めて主審、線審を務める		9	第9回パラリンピック・バルセロナ大会(3日～14日) 毛利衛がスペースシャトルで宇宙へ(12日)		
	10	第3回地域連絡会幹事会(21日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 地域の現状報告/会員と役員の世代交代/本部への要望/母と子の大会について 他		12	社団法人日本テニス事業協会設立		
	11	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(5日・6日) 会場：エストーレホテル(千葉県) 参加：54名 第14回朝日レディステニス大会決勝大会(17日～20日) 会場：朝日生命久我山スポーツセンター (東京都) 参加資格を「満25歳以上の女性」に変更 事業報告書の作成を開始					
	12	支部講習会を開始 講習会開催：17支部 参加：887名+関東4県合同の審判講習会(東レPPO向け)					
	1993 (H5)	2		第10回東レバン・パシフィック・オープン(2日～7日) 会場：横浜アリーナ(神奈川県)	会員数 33,170	2	アーサー・アッシュ氏49歳で逝去(7日) エイズ撲滅運動展開の矢先だった
		3		第9回全国普及指導委員会(16日・17日) 会場：新横浜国際ホテル、新横浜インドアコート(神奈川県) 出席：119名 ルール改正/情報の伝達/障害者のテニス(ボランティア活動)/子供のためのワンポイントレッスン 桑名寿枝子名誉会長 98歳でご逝去(10日) 1992年度定時総会・全国理事会(11日) 会場：東京体育館(東京都)		3	日本初の屋根開閉式の福岡ドーム完成(31日)
		4		アーサー・アッシュ・エイズ撲滅運動への協力を始める 三菱自動車桑名杯フレッシュレディステニス'93 大会名称を変更		4	伊達公子がジャパンオープンで優勝 飯田栄・木戸協真也組がダブルス優勝
5		第12回日韓親善テニス大会(27日～29日) 会場：慶州ヒルトンインターナショナルホテル内テニスコート(慶州市) 【韓国チーム】団長：南徳子 監督：楊正順 【日本チーム】団長：井上早苗 監督：松本末子	5	Jリーグ(日本プロサッカーリーグ) 誕生(15日)			
6		桑名寿枝子名誉会長を偲ぶ会(2日) 会場：赤坂ザ・フォーラム(東京都) 参加：260名 石黒民子がウィンブルドン'93で日本女性として初めて主審・線審を務める	6	皇太子と雅子妃のご結婚(9日)			
7		リーボック杯母と子のテニストーナメント(7月～10月)	7	北海道南西沖地震 M7.8 (12日)			
10		賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(5日・6日) 会場：榛名テニスリゾート(群馬県) 参加：54名	12	白神山地、屋久島、法隆寺、姫路城が日本初の世界遺産に登録(9日)			

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
1993 (H5)	10	第4回地域連絡会幹事会(13日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 各地域からの報告(各支部の現状報告)	会員数 34,981		
	11	第15回朝日レディーステニス全国決勝大会(17日～19日) 会場：朝日生命久我山スポーツセンター(東京都) ALT基金の設立と募金活動の開始 「テニスを通じて社会に貢献すること」を目標とした募金活動を開始 全国決勝大会最終日までの募金額は1,531,583円 雲仙普賢岳の被災者とアーサー・アッシュ・エイズ撲滅財団に寄付 講習会開催：26支部 参加：1,587名			
1994 (H6)	1	遠藤愛、伊達公子両選手に、銀製写真立てを贈呈 遠藤愛がタスマニアのホバート国際大会で優勝、伊達公子がニューサウスウェールズ・オープンで優勝したお祝いとして	会員数 36,686	1	郵便料金、はがき50円・封書80円に
		賛助後援会だより発行開始(3日) 毎年発行		2	第17回冬季オリンピック・リレハンメル大会(12日～27日) 今より夏季大会と開催年をずらす
	3	第10回全国普及指導委員会(15日・16日) 会場：新横浜国際ホテル、新横浜インドアコート(神奈川県) 出席：142名 ルール改正の説明/会員にとって充実した活動とは/50歳以上の会員の活動と今後/審判の研修 鈴木澄子がテニ戦(アジアオセアゾーングループ1)で女性として初めて主審を務める(27日)		3	第6回冬季パラリンピック・リレハンメル大会(10日～19日) 世界フィギュア選手権で佐藤由香が優勝(26日)
	4	1993年度定時総会・全国理事会(5日) 会場：東京体育館(東京都) 規約一部改正 法人化に向けての調査を始める		4	アンデルセン賞・作家部門でまどみちおが日本人初の受賞(2日) 伊達公子がジャパンオープン3連覇 道城まみ・杉山愛組がダブルス優勝
	5	賛助後援会員ワンデイテニス親睦会(19日) 会場：朝日生命久我山スポーツセンター(東京都) 参加：25名		6	松本サリン事件(28日)
	6	第13回日韓親善女子テニス大会(2日～4日) 会場：熊本県民運動公園(熊本県) 【韓国チーム】 団長：南徳子 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：井上早苗 監督：松原慶子		7	日本人女性初の宇宙飛行士・向井千秋がスペースシャトルで宇宙へ(8日)
	10	第5回地域連絡会幹事会 会場：岸記念体育会館(東京都) 法人化について説明/地域の現状報告/各地域の50歳以上の会員への取り組みについて 他		9	関西国際空港が開港(4日)
	11	第16回朝日レディース全国決勝大会でテレビ解説が始まる(16日～18日) 賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(24日・25日) 会場：グリーンテニスクラブ須玉(山梨県) 参加：72名 講習会開催：27支部 参加：1,424名		10	広島で第12回アジア大会開催(2日～16日) 大江健三郎がノーベル文学賞受賞(13日) 伊達公子がWTAランク5位に
				12	「古都・京都の文化財」世界遺産に登録(15日)
	1995 (H7)	1		阪神・淡路大震災救援の募金活動 全国で救援・支援活動(兵庫県支部への支援金：約642万円)	会員数 37,514
3		第11回全国普及指導委員会(16日・17日) 会場：新横浜国際ホテル、新横浜インドアコート(神奈川県) 出席：137名 ルール改正の説明/トーナメント運営について/生涯スポーツとしてのテニス/地域連絡会アンケート報告/阪神淡路大震災救援御礼/技術および審判講習会	2	東レPPOで伊達公子が優勝(5日)	
4		1994年度定時総会・全国理事会(14日) 会場：有明コロシアム(東京都) 会長：井上早苗 副会長：宮城黎子・藤倉喜代・村上照子 理事長：飯田藍 副理事長：伊波昭子・丹野緑・小田晶子 本部役員慰労会 会場：朝日生命久我山テニスセンター(東京都) 出席：25名 バザーを同時開催し、収益を阪神淡路大震災の支援として贈る 「桑名杯フレッシュレディーステニス」に大会名称を変更	3	地下鉄サリン事件(20日)	
5		第14回日韓親善女子テニス大会(29日～31日) 会場：良才テニスコート(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：金栄姫 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：井上早苗 監督：植崎富子	4	佐伯美穂・吉田友佳組がジャパンオープンのダブルスで優勝(16日)	
9		青森県日本赤十字有功会より「法人銀色有功章」を授与される '94ALT募金を青森県はまなす学園に寄付	6	中牟田喜一郎氏が日本テニス協会の第10代会長に就任 伊達公子が全仏で日本女性初のベスト4(13日) ウィンブルドン本戦に11名の日本女子選手	
10		第6回地域連絡会幹事会(12日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 各地区50歳以上の会員への取り組み/30周年に向けて/法人化に向けての活動経過報告 賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(26日・27日) 会場：諏訪湖の森テニスクラブ(長野県) 参加：77名 テレフォンカードを廃止 講習会開催：12支部 参加：795名 関東4支部(東京・神奈川・千葉・埼玉) 審判練習会 参加：314名	7	松岡修造がウィンブルドンでベスト8 日本男子として62年ぶり(3日)	
			8	第18回ユニバーシアード、福岡で開催(23日～9月3日)	
			11	東京臨海副都心に「ゆりかもめ」開業(1日) マイクロソフト社が「ウィンドウズ95」を発売(パソコンの普及が加速)(23日) 伊達公子がWTAランクを4位に更新(13日)	
			12	白川郷・五箇山の合掌造り集落が世界遺産に登録(7日)	
1996 (H8)	1	JLTFカード発行 株式会社オリエントコーポレーションと提携カード発行協定を結ぶ	会員数 37,514	1	若田光一 宇宙飛行士がスペースシャトルで宇宙へ(11日)
	3	第12回全国普及指導委員会(14日・15日) 会場：新横浜国際ホテル、新横浜インドアコート(神奈川県) 出席：139名 ルール改正の説明/トーナメント運営について/支部運営について/技術及び審判講習		2	勲日本テニス協会名誉会長 小坂徳三郎氏ご逝去(享年80歳)(23日) 昭和55年に第9代会長に就任され、以来15年にわたり手腕を発揮された
	4	1995年度定時総会・全国理事会(17日) 会場：有明コロシアム(東京都) KBフェドカップ'96 選手激励会(26日) 会場：有明コロシアム(東京都) 出席：18名 日本テレコム桑名杯レディーステニストーナメント'96 今回のみ日本テレコムが特別協賛		3	北海道・駒ヶ岳噴火(5日) 世界ランク50位以内に日本女子選手5名
	6	第15回日韓親善女子テニス大会(4日～6日) 会場：財団法人吉田記念テニス研修センター(千葉県) 【韓国チーム】 団長：金栄姫 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：井上早苗 監督：高橋和子 母と子のテニス大会 今回からJLTFの自主開催となる 開催：47支部 参加：2,418名		4	伊達公子がジャパンオープンで優勝 伊達公子・杉山愛組がダブルスで優勝 KBフェドカップ'96(27日・28日) ワールドグループ1回戦 会場：有明コロシアム 対ドイツ戦3勝2敗で日本が勝利 死闘3時間25分、伊達公子がWTAランク1位のS.グラフ選手に勝つという歴史的快挙 ダブルスも杉山愛・長塚京子組がグラフ・フーバー組に勝つ
	8	アトランタでのオリンピックに飯田理事長・小田副理事長が視察のため日本テニス協会より派遣される 酒井信子と鈴木斐子が線審を務める 伊達公子選手に銀製写真立てを贈呈 東芝クラシック(会場：サンディエゴ)で優勝したお祝いとして 日本赤十字徳島県支部より「金色有功章」を授与される '95ALT募金を徳島県ひのみね整肢医療センターに寄付			
	10	JLTF事務所開設 朝日生命久我山スポーツセンター内			

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
1996 (H8)	11	賛助後援会・二泊親睦テニス旅行会(19日～21日) 会場：ウィンブルドン九州テニスクラブ(佐賀県) 参加：88名	会員数 38,674	7	伊達公子がウィンブルドン'96でベスト4 (4日・5日) 日本人女性として初の快挙 準決勝でグラフに惜敗(2-6 6-2 3-6) KBフェドカップ'96 ワールドグループ準決勝 (13日・14日) 対アメリカ戦5戦全敗 会場：名古屋市長総合体育館レインボーホール 第26回オリンピック・アトランタ大会 (19日～8月4日)
		第7回地域連絡会幹事会(25日) 会場：岸記念体育会館(東京都) 地域からの現状報告			第10回パラリンピック・アトランタ大会 (15日～25日)
		国連難民高等弁務官より人道支援への協力に対し感謝状を授与される 会報No.21発行 表紙イラスト担当者がテッド・タナベ氏からサン・ムラタ氏へ 講習会開催：12支部 参加：730名 関東4支部審判講習会 参加：363名			伊達公子 引退表明(24日)
1997 (H9)	2	現在の国際テニス連盟公認審判員資格保持者(JLTF会員) ブロンズ：4名、ホワイト：20名(8日) KBフェド・カップ選手激励会(25日) 会場：有明コロシアム 参加：35名	会員数 39,177	1	ロシアタンカーからの重油流出事故(2日) 北陸沿岸に多くのボランティア集まる
		第8回地域連絡会幹事会(9日) 会場：大森東急イン(東京都)			KBフェド・カップ'97(1日・2日) 会場：有明コロシアム(東京都) 対フランス戦 フランス4-1日本 杉山愛は3時間20分の接戦の末、 ピエルスに勝つ 秋田新幹線開業(22日) (盛岡～秋田は奥羽本線を走行)
	3	第13回全国普及指導委員会(13日・14日) 会場：新横浜国際ホテル、新横浜インドアコート(神奈川県) JLTFの未来像/法人化について/ルール改正の説明/マナーについて/ピーウィーテニスの紹介 2日間 参加：144名		3	消費税3%から5%に引き上げ(1日) 杉山愛がジャパンオープンで優勝 平木理化・A.デシャムバレ組がダブルスで優勝 (20日)
		創立30周年記念式典・祝賀会(23日) 会場：キャピトル東急ホテル(東京都) 出席：433名			平木理化・マヘシュ・ブバシ組が 全仏混合ダブルスで優勝(7日)
		1996年度定時総会・全国理事会(24日) 会場：キャピトル東急ホテル(東京都) 名誉会長：井上早苗 会長：宮城黎子 副会長：飯田藍 理事長：丹野緑 副理事長：小田晶子			日本人のグランドスラムでの優勝は1975年・ ウィンブルドン女子ダブルス(沢松和子)以来 の快挙
	4	桑名杯レディーステニス大会'97(24日) 再び大会名称を変更 この名称で'07まで続く		6	日本人のグランドスラムでの優勝は1975年・ ウィンブルドン女子ダブルス(沢松和子)以来 の快挙
		第16回日韓親善女子テニス大会(2日～4日) 会場：オリンピックパーク(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：高橋和子			10 長野新幹線(高崎～長野) 開業(1日)
	6	賛助後援会員ワンデイテニス親睦会(13日) 会場：湯河原ラケットクラブ(静岡県) 参加：54名		10	地球温暖化防止京都会議(1日)
		創立30周年記念親睦会(3日～5日) 会場：イースタンリゾート滋賀(滋賀県) 参加：374名 賛助後援会の一泊旅行も合同開催(賛助後援会員参加：74名)			
	10	JLTF名譽会員の緒方貞子さん(国連難民高等弁務官)がフィリピンのマグサイサイ賞の 国際理解部門賞を受賞 ※マグサイサイ賞は「アジアのノーベル賞」とも呼ばれ、戦争などで故 国を追われた多くの難民の帰還実現に貢献されたことに対して、この賞が贈られた		12	
講習会開催：13支部 参加：936名 関東4支部審判講習会 参加：420名					
1998 (H10)	1	平木理化選手と杉山愛選手に優勝のお祝いとして銀製写真立てを贈呈	会員数 39,421	1	杉山愛が豪州ハードコート選手権大会で 単復優勝(11日)
		第15回東レバン・パシフィック・オープン(3日～8日) 会場：東京体育館(東京都)			第18回冬季オリンピック・長野大会 (7日～22日)
	3	第14回全国普及指導研修会(委員会から研修会に変更)(9日・10日) 会場：大森東急イン、多摩川園ラケットクラブ(東京都) ルール改正の説明とアンケートの回答/支部発表/各委員会の役割/ 「ちびっ子テニス」を広めるためのさまざまな試み 他 出席：153名		3	日本テニス振興協議会が9月23日を「テニスの 日」に制定(4日) 第7回冬季パラリンピック・長野大会 (5日～14日)
		1997年度定時総会・全国理事会(15日) 会場：有明コロシアム			明石海峡大橋開通(5日) 杉山愛がジャパンオープンで2連覇 碓子牟田直子・宮城ナナ組がダブルス優勝 (19日)
	6	第17回日韓親善女子テニス大会(3日～5日) 会場：岩瀬スポーツ公園(富山県) 【韓国チーム】 団長：金玲子 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：緒方うらら		8	北朝鮮のテポドンが三陸沖に着弾(31日)
		JLTF主催のちびっこテニス講習会で技術・ルール・審判の強化を図ることを決定 6月18日を皮切りに全国10支部で開催 母と子のテニス大会に「ちびっ子テニスの部」を新設(6月～9月)			地球温暖化対策推進法公布(9日) 日本長期銀行が経営破綻(23日) 伊達公子の「カモン!キッズテニス」始まる
	10	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(1日・2日) 会場：グリーンテニスクラブ須玉(山梨県) 参加：42名		10	「古都奈良の文化財」世界遺産に登録決定(2日)
		第1回GoGoテニスフェスティバル井上早苗杯(9日・10日) 会場：博多の森テニスコート(福岡県) 55歳・60歳・65歳・70歳の4部門 参加：198名			
	11	第20回記念朝日レディーステニス全国決勝大会(17日～20日) 会場：朝日生命久我山スポーツセンター(東京都) 同時に卒業生大会も開催(17日・18日) ALT基金でジュニア用車いす8台(200万円)と車いすテニス講習会運営費(100万円)を日本 車いすテニス協会へ贈呈		12	
		講習会開催：12支部 参加：566名 関東4支部審判講習会 参加：449名 ちびっ子テニス指導者講習会開催：10支部 参加：534名			
	1999 (H11)	3		第15回全国普及指導研修会(8日・9日) 会場：大森東急イン、多摩川園ラケットクラブ(東京都) 出席：139名 テーマ：組織の強化とテニスの伝統を守る/ルール改正の説明/アンケートをもとに情報交換 /テニスの普及指導状況と方針/ラインパーソンの実技/ちびっ子テニス実技 他	会員数 39,421
1998年度定時総会・全国理事会(14日) 会場：有明コロシアム(東京都) 名誉会長：井上早苗 会長：宮城黎子 副会長：飯田藍 専務理事：伊波昭子			ソニーがロボット犬アイボを発売		
6		第18回日韓親善女子テニス大会(2日～4日) 会場：オリンピックパーク(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：宋光子 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：緒方うらら	9	杉山愛・マヘシュ・ブバシ組が全米混合ダブル スで優勝(9日) 東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故発生 (30日)	
		全米オープンミックスダブルスで優勝した杉山愛選手にお祝いの銀製写真立てを贈呈		世界人口が60億を突破(12日)	
10		賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(20日・21日) 会場：山形県総合運動場(山形県) 参加：46名	12	東照宮など「日光の社寺」が世界遺産に登録決定 (1日)	

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
1999 (H11)	11	第2回GoGoテニスフェスティバル井上早苗杯(4日・5日) 会場：東山公園テニスセンター(愛知県) 参加：212名	会員数 40,208		
		地域幹事長会議(16日) 会場：新宿ニューシティホテル(東京都) 地域連絡会幹事会より名称変更 以降'03まで年1回、'04から年2回、'06から'08年3回開催、 '09の本部機構の大幅改変まで続く			
		会費：1名 400円 講習会開催：12支部 参加：966名 ちびっこテニス指導者講習会開催：10支部 参加：563名			
2000 (H12)	3	第16回全国普及指導研修会(7日・8日) 会場：東急イン、京都フレンドテニスクラブ(京都府) 参加：130名 ルール勉強会/支部発表/講義「科学的トレーニングのすすめ」/ ストレッチ及びコンディショニング/審判指導と技術指導	会員数 39,799	2	大阪で日本初の女性知事が誕生(6日)
		全国普及指導研修会報告会とルール勉強会(16日) 会場：銀座東急ホテル(東京都) 参加：33名		3	有珠山が約23年ぶりに噴火(31日)
	4	1999年度定時総会(20日) 会場：東京体育館(東京都) 本部のホームページを開設(16日)		4	介護保険制度スタート(1日)
	6	第19回日韓親善女子テニス大会(5日～7日) 会場：屋島テニスクラブ(香川県) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：高木陽子		5	第11代日本テニス協会会長に盛田正明氏が就任、中牟田喜一郎氏が名誉会長に就任
	7	第3回GoGoテニスフェスティバル井上早苗杯(5日・6日) 会場：天童市総合運動公園テニスセンター(山形県) 参加：206名		9	第27回オリンピック・シドニー大会(15日～10月1日)
	8	全米オープン女子ダブルスで優勝した杉山愛選手に祝いとして銀製写真立てを贈呈		10	マラソンの高橋尚子、柔道の田村亮子など女子が5個の金メダルを獲得、日本のメダル獲得は18個(女子：13個)
	10	鈴木斐子がパラリンピック2000・シドニー大会で主審を務める		10	鳥取県西部地震 M7.3(6日) 白川英樹がノーベル化学賞受賞(10日) 第11回パラリンピック・シドニー大会(14日～24日)
		賛助後援会・二泊親睦テニス旅行会(25日～27日) 会場：辰口温泉(石川県) 参加：53名 講習会開催：7支部 参加：390名 ちびっこテニス指導者講習会：1支部 参加：29名		12	琉球王国のグスク城が世界遺産登録(2日)
2001 (H13)	3	第17回全国普及指導研修会(6日・7日) 会場：エクセルホテル東急(東京都)、高輪テニスセンター 参加：162名 ルール勉強会/支部発表/講演「女性の生活とスポーツ/分科会/ストレッチ/ テニス技術講習/審判講習	会員数 39,273	4	情報公開制度スタート(1日)
		2000年度定時総会(19日) 会場：東京体育館(東京都)		9	アメリカで同時多発テロ発生 NY世界貿易センタービルに旅客機が激突(11日)
	6	第20回日韓親善女子テニス大会 会場：西帰浦市テニスコート(済州島) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：高木陽子		10	テレビアニメ「テニスの王子様」放送開始(7日) 野依良治がノーベル化学賞受賞(10日)
	9	宮城黎子会長が国際テニス連盟(ITF)の国際テニス功労賞を受賞 「AWARD FOR SERVICES TO THE GAME」※ 宮城会長のコメント「私はテニスが大好きで、プレーも長くやってきました。今でもテニスを見て、本当に楽しんでいます。そのテニスから多くの友達と健康を得、それだけで十分だと思っていたのにITFからこのような表彰をされて、とてもうれしいです」 〔テニスクラシックブレイク〕2002年1月号より ※国際テニス功労賞は長年に亘りテニスの普及と発展に貢献した人に贈られる		11	ETCのサービスがスタート(30日)
	10	AIGジャパンオープン2001でコロシアム内の観客移動をコントロールする役割(通称：リボンガール)を初めてJLTF会員がボランティアとして担当(29日～10月7日) 宮城会長が自ら先頭に立ち、この役割を務めた		12	天皇家に敬宮愛子内親王誕生(1日)
		賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(18日・19日) 会場：グリーンテニスクラブ須玉(山梨県) 参加：39名			
		第4回井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル(29日・30日) 会場：サニーインむかいテニスコート(千葉県) 参加：206名 今回より名称変更 75歳の部を新設 75歳の部に9組が出場 懇親会で井上早苗名誉会長の米寿を祝う			
		第1回宮城奨励賞、神奈川県支部と佐賀県支部へ贈呈 テニス普及のため長年ボランティア活動をしている団体及び個人に贈られる賞で、 宮城会長が創設 講習会開催：13支部 参加：1,013名 ちびっこテニス指導者講習会：2支部 参加：157名			
2002 (H14)	3	第18回全国普及指導研修会(5日・6日) 会場：渋谷エクセルホテル東急、高輪テニスセンター(東京都) 参加：154名 ルール勉強会/支部発表/地域代表理事報告/講演「加齢とトレーニング」/ 分科会(テニス技術・ちびっこテニス/ルール・トーナメント問題/医科学問題他) ストレッチ/テニス技術/審判講習	会員数 39,273	2	第19回冬季オリンピック・ソルトレークシティー大会(8日～24日)
		2001年度定時総会(19日) 会場：東京体育館(東京都)		3	第8回冬季パラリンピック・ソルトレークシティー大会(7日～16日)
	4	ピンクリボンレディーステニス大会「デモ大会」 乳がん早期発見啓蒙促進のため2003年から当連盟主催で開催予定の大会のデモンストレーション大会を全国10支部で開催 参加：1,224名		5	第17回サッカーワールドカップ日本と韓国で開催(31日～6月30日)
	5	事務所移転 東京都杉並区高円寺		9	アジア大会(釜山)で男子団体が28年ぶりに金メダル(29日～10月14日)
	7	第21回日韓親善女子テニス大会(28日～30日) 会場：鈴鹿市県営スポーツガーデン(三重県) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：岩田祐加子		10	浅越しのぶ・宮城ナナ組がジャパンオープンのダブルスで優勝(6日) 小柴昌俊がノーベル物理学賞受賞(8日) 田中耕一がノーベル化学賞受賞(9日) 拉致被害者5人が24年ぶりに帰国(15日)
	8	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(9日・10日) 会場：東急ハーベストクラブ浜名湖(静岡県) 参加：82名+静岡からテニスのみ13名		12	東北新幹線(盛岡～八戸)開業(1日) ナショナルトレーニングセンターが東京都北区西が丘に移動
	10	第5回井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル(30日・31日) 会場：備前市総合運動公園テニスコート(岡山県) 参加：322名			
	11	第24回全国レディーステニス全国決勝大会(6日～8日) 会場：昭和の森スポーツセンター 朝日レディースから全国レディースへ名称変更 主催：勸日本テニス協会/朝日新聞社 後援：勸日本体育協会/日刊スポーツ新聞社、テレビ朝日 主管：日本女子テニス連盟 協賛：ソニー生命保険株式会社 協力：株式会社日本ダンロップ			

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
2002 (H14)		第2回宮城奨励賞 秋田県支部と富山県支部へ贈呈	会員数 38,330		
		11年続いた国連難民救援基金を難民教育基金への募金に変更 難民教育基金は第8代国連難民高等弁務官の緒方貞子さんの提唱により2000年12月に新設された難民の中・高等教育支援を目的とした基金			
		講習会開催：13支部 参加：974名			
2003 (H15)	1	第20回東レバン・バシフィック・オープン(28日～2月2日) 会場：東京体育館(東京都)	会員数 37,749	3	米英軍がイラク攻撃を開始(19日) (財)日本テニス協会 80周年記念祝賀会(25日)
	3	第19回全国普及指導研修会(4日・5日) 会場：渋谷エクセルホテル東急・国立スポーツ科学センター(東京都) 参加：168名 ルール勉強会/支部発表/分科会/審判講習/テニス技術・指導方法講習/栄養学について 他		4	日本郵政公社発足(1日)
	4	2002年度定時総会(16日) 会場：東京体育館(東京都)		5	個人情報保護法が成立(23日) 宮城県沖地震 M7.1 (26日)
	7	princeレディーステニストーナメント始まる 14会場で開催 参加：1,280名		6	杉山愛・クライシュテルス組が全仏で優勝(8日)
	7	第6回井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル(16日・17日) 会場：松本市総合運動公園内テニスコート(長野県) 参加：340名		7	杉山愛・クライシュテルス組が ウィンブルドンで優勝(6日) 杉山選手はシングルス・ダブルスで同時 世界ランクトップ10入り(史上初の快挙)
	9	第22回日韓親善女子テニス大会(15日～17日) 会場：LG CALTEXコート(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：武正八重子		9	十勝沖地震 M8.0 (26日)
	10	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(15日・16日) 会場：スパウザ小田原(神奈川県) 参加：67名		12	東京・名古屋・大阪で地上デジタル放送開始 (1日)
	10	第1回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会(30日・31日) 会場：荏原湘南スポーツセンター(神奈川県) 47都道府県での予選(4～8月)には7,144名が出場 「乳がんは早期発見が最も大切」を全員で再確認			
	11	第25回記念全国レディーステニス全国決勝大会(5日～7日) 会場：昭和の森スポーツセンター(東京都) 協力：SRIスポーツ株式会社 初日に47支部の支部長を招待し記念親睦会を開催 会場：フォレスト・イン昭和館 ALT基金でジュニア用車イス10台を日本車いすテニス協会に贈呈			
	12	第1回全国普及員養成講習会および検定会(1日・2日) 会場：国立スポーツ科学センター(東京都) 参加：36名 第3回まで毎年開催される			
		第3回宮城奨励賞 北海道支部とピンクリボン大会委員会へ贈呈 講習会開催：14支部 参加：991名			
	2004 (H16)			新潟中越地震の義援金を新潟県支部へ贈る	会員数 37,082
3		第20回全国普及指導研修会(2日・3日) 会場：渋谷エクセルホテル東急・東京体育館サブアリーナ(東京都) 参加：166名 生涯スポーツを楽しむ為に/ルール最新情報/JLTTFの魅力・役割を考える/ 生涯スポーツとしてのテニス 他	2	イラクへ陸上自衛隊を派遣(3日)	
4		2003年度定時総会(21日) 会場：東京体育館(東京都) 名誉会長：井上早苗 会長：宮城黎子 副会長：飯田藍 理事長：伊波昭子	3	九州新幹線鹿児島ルート (新八代～鹿児島中央) 開業(13日) 荒川静香がフィギュア世界選手権で優勝(28日)	
6		第23回日韓親善女子テニス大会(17日～19日) 会場：アオノ運動公園(兵庫県) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：宮城黎子 監督：嶺尾桂子	4	デ杯で日本が74年ぶりにインドに勝つ(11日)	
9		第7回井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル(29日・30日) 会場：県総合運動公園コート、トキワテニスクラブ(香川県) 参加：332名	6	杉山愛がウィンブルドンでベスト8 民間テニスクラブが激減	
11		賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(17日・18日) 会場：ウィンブルドン九州テニスクラブ(佐賀県) 参加：95名+法人2名	8	第28回オリンピック・アテネ大会で杉山愛・浅 越しのふ組が4位に入賞(13日～29日)	
		第4回宮城奨励賞 木全豊子顧問と千葉県支部へ贈呈 講習会開催：13支部 参加：885名	9	第12回パラリンピック・アテネ大会で 齋田悟司・国枝慎吾組が金メダル(17日～28日)	
2005 (H17)	3	第21回全国普及指導研修会(2日・3日) 会場：渋谷エクセル東急・東京体育館サブアリーナ(東京都) 参加：1日目 169名、2日目 119名 スポーツを楽しむために/ルール最新情報/これからの 女子連盟を考える/子供～青少年のスポーツ指導/指導員会議	会員数 36,723	2	中部国際空港が開港(17日)
	4	2004年度定時総会(19日) 会場：東京体育館(東京都) 名誉会長：井上早苗 会長：宮城黎子 副会長：飯田藍・伊波昭子 理事長：高木陽子 副理事長：横井正子		3	福岡西方沖地震 M7.0 (20日) 愛知万博(愛・地球博) 開幕(25日)
	5	第24回日韓親善女子テニス大会(31日～6月2日) 会場：オリンピックテニスコート(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：小泉弘子		4	個人情報保護法 全面施行(1日)
	6	第8回井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル(7日・8日) 会場：ニセコ東山プリンスホテル(北海道) 参加：214名		7	ロンドン中心部で大規模多発テロ(7日)
	9	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(14日・15日) 会場：ホテルエビナル那須(栃木県) 参加：85名		8	つくばエクスプレス開業(24日)
	11	ソニー生命カップ第27回全国レディーステニス全国決勝大会(9日～11日) 会場：昭和の森スポーツセンター(東京都) 第24回よりソニー生命株式会社の協賛を得ており、今回から名称を変更 講習会開催：17支部 参加：1,119名		10	道路公団民営化(1日) 鈴木貴男・岩淵聡組がジャパンオープンで優勝 (9日) 日本男子ペアでのATPツアー優勝は初
2006 (H18)	4	2005年度定時総会(18日) 会場：渋谷エクセルホテル東急(東京都)	会員数 36,723	2	第20回冬季オリンピック・トリノ大会 (10日～26日) 荒川静香がフィギュアスケートで金メダル
	5	第22回全国普及指導研修会(18日・19日) 会場：渋谷エクセルホテル東急(東京都) 参加：158名 今年度より総会に引き続き開催することになった 1日目：懇親会 2日目：討論会/講演「健康は足元から！」/ルール講習 他		3	第9回冬季パラリンピック・トリノ大会 (10日～19日)
	6	第1回全国親睦講習会「サエラ2006岡山」(24日・25日) サエラは仏語で「あちこち」 会場：岡山ドーム(岡山県) 参加：66名 親睦テニスの会 各地から40歳前半～80歳の会員が参加		6	北朝鮮がミサイル発射(5日)
	6	9th井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル2006(6日・7日) 会場：万博テニスガーデン(大阪府) 参加：302名		9	秋篠宮家に悠宮親王誕生(6日)
	第25回記念日韓親善女子テニス大会(15日～17日) 会場：パパステニスクラブ須玉(山梨県) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：小泉弘子	10	国枝慎吾が車いすテニスで日本人初の シングルス世界ランク1位となる		

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
2006 (H18)	9	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(27日・28日) 会場：松江市総合運動公園、松江東急イン(島根県) 参加：81名	会員数 36,053		
		ピンクリボン基金よりマンモグラフィ1基を島根県環境保健公社へ贈呈 もう1基を京都プレストセンター・沢井診療所に贈呈			
		講習会開催：6支部 参加：296名			
2007 (H19)	4	2006年度定時総会(11日) 会場：東京体育館(東京都) 名誉会長：宮城黎子 会長：飯田藍 副会長：小田晶子 理事長：高木陽子 第5回宮城奨励賞 福岡県支部と大阪府支部へ贈呈	会員数 35,691	1	防衛省発足(9日)
		第23回全国普及指導研修会(11日・12日) 会場：渋谷エクセルホテル東急(東京都) 参加：145名 討論会：若い世代の会員を増やす方法 他 講演会：地球環境について学ぼう/ルール講習会		3	能登半島地震 M6.9 (25日)
	5	10th井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル 2007 (9日・10日) 会場：ホテルエピナル那須、那須野ヶ原公園、白坂の森スポーツ公園(栃木県) 参加：286名		5	森上亜希子がブラハオープンで優勝(7日)
		第26回日韓親善女子テニス大会(28日～30日) 会場：栗忠テニスコート(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：岡川恵美子		7	新潟県中越沖地震 M6.8 (16日)
	6	第2回全国親睦講習会「サエラ2007浜松」(5日・6日) 会場：花川運動公園(静岡県) 参加：104名		9	国枝慎吾が車いすテニスで史上初となる 年間グランドスラムを達成(24日)
	10	第5回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会(30日・31日) 会場：荏原湘南スポーツセンター(神奈川県)		10	郵政民営化スタート(1日)
	12	40周年記念式典(3日) 会場：セルリアンタワー東急ホテル(東京都) 出席：345名 40周年記念誌発行 講習会開催：7支部 参加：403名		12	「ねんきん特別便」発送開始(17日)
2008 (H20)	1	40周年記念親睦会(15日～17日) 会場：フェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎県) 参加：482名 賛助後援会・会員との親睦会を同時開催(賛助後援会からは71名が参加)	会員数 35,513	1	味の素ナショナルトレーニングセンターが 正式オープン(21日)
	3	ナブラチロワ・グラフ・クム伊達公子によるドリームマッチ(15日) 会場：有明コロシアム(東京都) 競技運営を担当		2	錦織圭がデレレイビーチ大会優勝(17日)
	4	2007年度定時総会(9日) 会場：東京体育館(東京都) 第24回全国普及指導研修会(9日・10日) 会場：渋谷エクセルホテル東急(東京都) 参加者：156名 討論：支部・現場から本部への質問・要望/講演：ちびっこテニス指導法/ルール講習 桑名杯レディーステニス大会2008 by DUNLOP に名称変更 この名称で毎年開催し現在に至る		3	浅田真央がフィギュアスケートの世界選手権で 優勝(23日)
	5	賛助後援会ワンデイテニス親睦会(23日) 会場：昭和の森テニスセンター(東京都) 参加：29名 以後、毎年開催 第27回日韓親善女子テニス大会(28日～30日) 会場：新青森県総合運動公園 青い森アリーナ(青森県) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：星山笑惟子		4	後期高齢者医療制度スタート(1日)
	6	宮城黎子名誉会長 86歳でご逝去(1日) 第3回全国親睦講習会「サエラ2008長浜」(3日・4日) 会場：長浜ドームテニスコート(滋賀県) 参加：1日目122名、2日目135名 11th井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル2008 (11日・12日) 会場：パークドーム熊本テニスコート(熊本県) 参加：244名		5	中国・四川大地震 M8.0 (12日)
	7	第1回会長杯グリーン・ヴィーテニス'08 in 静岡(16日・17日) 会場：浜松市花川運動公園(静岡県) 参加：184名 本部40周年の節目にチーム戦を新設(全国あるいは地域会員の親睦と交流が目的)		6	岩手・宮城内陸地震 M7.2 (14日)
	9	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(10日・11日) 会場：軽井沢(長野県) 参加：65名 第25回東レバン・パシフィック・オープン(16日～21日) 会場：有明コロシアム、有明テニスの森公園テニスコート(東京都)		7	洞爺湖サミット(7日)
	10	宮城黎子名誉会長をしのぶ会(29日) 会場：グランドホテル湘南(神奈川県) 出席：98名		8	第29回オリンピック・北京大会(8日～24日) 日本女子ソフトボールチームが金メダル
	11	ソニー生命カップ第30回記念全国レディーステニス全国決勝大会(5日～7日) 全国の3エリアから各1チームを招待し50ドローで開催 会場：昭和の森テニスセンター(東京都)		9	第13回パラリンピック・北京大会(6日～17日) 国枝慎吾が車いすテニスで金メダル
		A L T基金の活用状況 日本車いすテニス協会へジュニア用車いすを10台贈呈 J L T F千葉・神奈川・愛知・兵庫県支部へジュニア用車いすを各1台贈呈 日本車いすテニス協会へパラリンピック参加費用として10万円を寄付 講習会開催：8支部 参加：448名		10	4名の科学者がノーベル賞を受賞(7日) 物理学賞：南部陽一郎・小林誠・益川敏英 科学賞：下村脩 日本テニス協会名誉会長の中牟田喜一郎氏 93歳でご逝去(18日)
	2009 (H21)			本部機構の大幅改編(東・中央・西の3エリア制、委員会は3部門の12委員会制となる) 広報委員会を広報・HP委員会に変更	会員数 35,513
4		2008年度定時総会(8日) 会場：東京体育館(東京都) 会長：飯田藍 副会長：高木陽子 理事長：武正八重子 第25回全国普及指導研修会(8日・9日) 会場：渋谷エクセルホテル東急(東京都) 参加：1日目125名 2日目163名 討論：新組織・エリア活動/ファミリーエンジョイテニス/ルール解説 桑名杯レディーステニス大会2009 by DUNLOP (4月～7月) 参加：11,658名 全国9地区で各支部大会の優勝者らが集う「地域桑名杯大会」がスタート	1	国枝慎吾が車いすテニスで 全豪オープン単複3連覇を達成(27日)	
6		第28回日韓親善女子テニス大会(1日～3日) 会場：ホバンテニスコート(春川市) 【韓国チーム】 団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：粟野佐登代 第1回中央エリア会議(10日) 会場：長良川テニスプラザ(岐阜県) 第12回井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル2009 (10日・11日) 80歳の部を新設 会場：長良川テニスプラザ、早田テニスコート(岐阜県) 参加：360名	2	錦織圭が2008年度A T Pツアー最優秀新人賞 を受賞	
			5	裁判員制度がスタート(21日)	
			6	国枝慎吾が車いすテニスで 全仏オープンシングルス3連覇を達成(5日)	
			7	国際宇宙ステーションで日本担当の実験棟 「きぼう」が24年かけて完成(19日)	
			9	消費者庁発足(1日)	
		10	大阪でW T Aツアー大会のHPオープンスタート (12日～18日)		
		11	杉山愛が樹立した4大会シングルス本戦 62回連続出場の世界記録がギネスに認定 「円」が急騰 1ドルが84円台に(27日)		

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
2009 (H21)	6	第4回全国親睦講習会「サエラ2009山形」(23日・24日) 会場：県総合運動公園テニスコート(山形県) 参加：1日目101名、2日目114名 第1回東エリア会議(29日) 会場：東京体育館(東京都)	会員数 35,617		
	7	第1回西エリア会議(8日) 会場：博多の森テニス競技場(福岡県) 母と子のテニス大会をファミリーエンジョイテニス(FET)に変更 テニス未経験の3～6歳児とその保護者が対象 参加：子供1,133名 保護者：862名 ミニラケットとスポンジボールを使用したボール遊びの講習会 その他：42名 第2回会長杯グリーン・ヴィーテニス'09 in 福岡(8日・9日) 会場：博多の森テニス競技場(福岡県) 参加：224名			
	9	第1回JLTFクレストレディーステニスbyカープス(2日・3日) 会場：花川運動公園(静岡県) 参加：80名 全日本選手権・インカレ・全国レディース等出場経験者等が対象のトップレベル大会			
	11	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(17日・18日) 会場：藤波運動公園テニスコート(石川県) 参加：56名 講習会開催：13支部 参加：810名+関東4都県線審練習会 参加：80名			
	2	2009年度定時総会(24日) 会場：味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都) 会計年度の区切り変更に伴い総会の開催が4月から2月になった			1 日本年金機構発足(1日) ハイチ大地震 M7.0 (12日)
	3	第2回エリア会議・第1回エリア研修会 参加：東103名、中央99名、西72名 【東エリア】会場：味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都) ルール講習/ファミリーエンジョイテニス関連 【中央エリア】会場：東山公園テニスセンター(愛知県) ルール講習と/ファミリーエンジョイテニス関連/応急処置法 【西エリア】会場：博多の森テニス競技場(福岡県) ルール講習/ファミリーエンジョイテニス関連 第5回全国親睦テニス講習会「サエラ2010広島」(15日・16日) 会場：県立びんご運動公園(広島県) 参加：1日目53名、2日目103名			2 第21回冬季オリンピック・バンクーバー大会 (12日～28日) 3 第10回冬季パラリンピック・バンクーバー大会 (12日～21日) 4 牛の口蹄疫感染が拡大(20日) 6 小惑星イトカワの探査機「はやぶさ」帰還(13日) 10 鈴木章、根岸英一がノーベル化学賞受賞(7日) 12 東北新幹線が新青森まで開通(4日)
2010 (H22)	5	第13回井上早苗杯GoGoテニスフェスティバル2010(31日・6月1日) 会場：泉総合運動場泉庭球場、シェルコムせんだい(宮城県) 参加：260名	会員数 35,294		
	6	第29回日韓親善女子テニス大会(1日～3日) 会場：松江総合運動公園(島根県) 【韓国チーム】団長：裴俊英 監督：楊正順 【日本チーム】団長：飯田藍 監督：倉地京子			
	7	第3回会長杯グリーン・ヴィーテニス'10 in 長野(5日・6日) 会場：やまびこドーム、スカイパークテニスコート(長野県) 参加：196名			
	9	第2回JLTFクレストレディーステニスbyカープス(1日・2日) 会場：昭和の森テニスセンター(東京都) 参加：82名 賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(8日・9日) 会場：箱根町(神奈川県) 参加：65名 乳がん検診医用機器「マンモグラフィ」1基を愛知県・フォレストバルクリニックに贈呈 講習会開催：16支部 参加：825名+関東4都県線審練習会 参加：35名			
	2	2010年度定時総会(21日) 会場：東京体育館(東京都)			1 国枝慎吾が車いすテニスで 全豪オープン単複5連覇を達成
	3	第3回エリア会議・第2回エリア研修会 参加：東95名、中央(中止) 西2日間で延99名 【東エリア】会場：国立スポーツ科学センター(東京都) 緊急処置の仕方/ファミリーエンジョイテニスのマニュアル解説 【中央エリア】東日本大震災の発生により中止 【西エリア】会場：総合グランド陸上競技場内会議室(岡山県) AEDの使い方、救急法/ルール説明/ファミリーエンジョイテニス講習 東日本大震災救援の募金活動を開始 募金総額12,724,871円 青森・秋田・岩手・山形・宮城・福島・茨城・栃木・千葉の各支部へ合計970万円を送金 残金は次年度以降の被災支部支援活動経費として繰り越す			3 東日本大震災発生 M9.0 (11日) 東京電力福島第一原子力発電所事故(11日) 九州新幹線鹿児島ルート全線開業 (博多～鹿児島中央) (12日) 4 第12代日本テニス協会会長に畔柳信雄氏が就任 盛田正明会長は名誉会長に就任 6 佐藤直子が日本プロテニス協会の理事長に就任 復興基本法成立。復興庁新設へ(20日)
2011 (H23)	4	第6回全国親睦テニス講習会「サエラ2011三重」(27日・28日) 会場：鈴鹿スポーツガーデン(三重県) 参加：1日目65名 2日目88名	会員数 34,379		7 FIFA女子ワールドカップドイツ大会で なでしこジャパンが初優勝(17日) 地上デジタルテレビ放送へ移行(24日)
	5	第14回井上早苗杯GOGOテニスフェスティバル2011(10日・11日) 会場：松山中央公園テニスコート(愛媛県) 参加：168名 GoGoからGOGOに変更			11 錦織圭がスイス・インドア大会で ATPランク1位のジョコビッチに勝つ(5日) 錦織圭 ATPランク24位(7日)
	6	第30回日韓親善女子テニス大会(1日～3日) 会場：契忠テニスコート(ソウル市) 【韓国チーム】団長：裴俊英 監督：李順五 【日本チーム】団長：飯田藍 監督：岡川恵美子 第4回会長杯グリーン・ヴィーテニス'11 in 秋田(30日・7月1日) 会場：北野田公園テニスコート(秋田県) 参加：156名			
	7	井上早苗名誉会長98歳でご逝去(1日)			
	9	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(8日・9日) 会場：キロロリゾート(北海道) 参加：61名			
	11	第3回JLTFクレストレディーステニスbyカープス(30日～12月1日) 会場：昭和の森テニスセンター(東京都) 参加：136名 講習会開催：10支部 参加：444名+関東4都県線審練習会 参加：40名			
2012 (H24)	2	2011年度定時総会(22日) 会場：東京体育館(東京都)		1 錦織圭が全豪ベスト8(日本人80年ぶり) (23日)	
	3	第4回エリア会議・第3回エリア研修会 参加：東101名、中央100名、西64名 共通テーマ：筋力低下を防ぐトレーニング・ストレッチ 【東エリア】会場：国立スポーツ科学センター(東京都) 応急処置とテーピング 【中央エリア】会場：スポーツマンハウス鈴鹿(三重県) ルールについて・乳がんについて 【西エリア】会場：くまもと県民交流会館バリア(熊本県) メンタルトレーニングについて		2 東京スカイツリー開業(29日) 4 日本テニス協会が公益財団法人に移行(1日) 7 第30回オリンピック・ロンドン大会 (27日～8月12日) 8 第14回パラリンピック・ロンドン大会 (29日～9月9日) 9 国枝慎吾が車いすテニスで2大会連続の金メダル 65歳以上の人口が3,000万人突破(16日) 10 錦織圭が楽天ジャパン・オープンで優勝(7日) 山中伸弥がノーベル医学・生理学賞受賞(8日)	
	4	第7回全国親睦テニス講習会「サエラ2012山梨」(10日・11日) 会場：クラブヴェルデ(山梨県北杜市) 参加：129名 東北復興支援親睦会を山形・秋田・宮城・福島・岩手・青森で開催(4月～5月) テニスを通じて東日本大震災で被災された方々のお役に立てればとの思いから全国の会員から 寄せられた義援金で復興支援親睦会を企画 会長・理事長・指導委員会の講師メンバーが6会場に出向き、会員の皆様と交流			
	5	第15回井上早苗杯GOGOテニスフェスティバル2012(9日・10日) 会場：大原運動公園テニスコート(新潟県) 参加：174名			

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
2012 (H24)	6	第31回日韓親善女子テニス大会(4日～6日) 会場:北谷公園屋内運動場(沖縄県) 【韓国チーム】 団長:裴俊英 監督:李順五 【日本チーム】 団長:飯田藍 監督:松浦悦子	会員数 34,502		
	7	第5回会長杯グリーン・ヴィーチームテニス'12 in 兵庫(10日・11日) 会場:神戸総合運動公園テニスコート(兵庫県) 参加:304名			
	9	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(6日・7日) 会場:宇部中央公園(山口県) 参加:87名			
	10	第10回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会(23日・24日) 会場:荏原湘南スポーツセンター(神奈川県) マンモバス検診を4箇所で開催			
	11	第4回JLTFクレストレディーステニスbyカーブス(28日・29日) 会場:昭和の森テニスセンター(東京都) 参加:128名			
		講習会開催:16支部 参加:877名+関東4都県線審練習会 参加:37名 東北復興支援親睦会:山形・秋田・宮城・福島・岩手・青森 参加:不明			
2013 (H25)	2	2012年度定時総会(19日) 会場:国立スポーツ科学センター(東京都)	会員数 33,806	2	錦織圭がメンフィスで行われた 全米国際インドア選手権で優勝(24日)
	3	第5回エリア会議・第4回エリア研修会 参加:東96名、中央99名、西93名 本部テーマ:パフォーマンス向上を目指す栄養学 【東エリア】会場:国立スポーツ科学センター(東京都) 【西エリア】会場:高松テルサ(香川県) テニスにおけるテーピングのやり方		4	法定定年年齢が65歳に引き上げ(1日)
	4	公益財団法人日本テニス協会の副会長に飯田藍、常務理事に武正八重子が就任 第8回全国親睦テニス講習会「サエラ2013徳島」(17日・18日) 会場:大神子テニスコート(徳島県) 参加:1日目:57名 2日目:72名		6	富士山が世界文化遺産に登録(22日)
	5	第16回井上早苗杯GOGOテニスフェスティバル2013(8日・9日) 会場:長崎市総合運動公園(かきどまり) 庭球場(長崎県) 参加:210名		8	高知県四万十市で国内観測史上最高気温の 41.0度を記録(12日) 桜島が大規模噴火(18日) 噴煙が上空5千メートルに達した
	7	第32回日韓親善女子テニス大会(29日～31日) 会場:オリンピック公園室内テニス競技場(ソウル市) 【韓国チーム】 団長:裴俊英 監督:韓允子 【日本チーム】 団長:飯田藍 監督:西野栄		9	2020年東京オリンピック・パラリンピックの 開催が決定(8日)
	9	第6回会長杯グリーン・ヴィーチームテニス'13 in 石川(2日・3日) 会場:金沢市営城北市民テニスコート(石川県) 参加:192名		10	JR九州が豪華寝台列車「ななつ星」の運行を 開始(15日)
	10	賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(5日・6日) 会場:京都フレンドテニスクラブ・京都府立山城総合運動公園(京都府) 参加:67名			
	11	第30回東レ パン・パシフィック・オープン(22日～28日) 会場:有明コロシアム、有明テニスの森公園テニスコート(東京都) 競技運営への協力が終了			
		第11回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会(23日・24日) 会場:荏原湘南スポーツセンター(神奈川県) マンモバス検診を4カ所で開催			
		ソニー生命カップ第35回記念全国レディーステニス全国決勝大会(14日～16日) 会場:昭和の森テニスセンター(東京都) 昭島市、昭島市教育委員会が後援に加わる ラブ基金よりジュニア用テニス車10台を日本車いすテニス協会に贈呈			
		第5回JLTFクレストレディーステニスbyカーブス(27日・28日) 会場:昭和の森テニスセンター(東京都) 参加:126名			
		「ALT基金」と「難民教育基金」を統合し「ラブ基金」に名称変更			
		50周年記念プロジェクト立ち上げ			
	2014 (H26)	2		講習会開催:12支部(神奈川県支部はFETとルール・審判講習を各1回、 富山県支部はFETと技術講習を同日開催) 参加:717名 東北復興支援活動:福島・山形・岩手・青森・秋田・宮城 参加:230名	
2		2013年度定時総会(20日) 会場:味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都)	2	第22回冬季オリンピック・ソチ大会 (7日～23日) 羽生結弦がフィギュアスケートで金メダル 錦織圭がメンフィスで行われた 全米国際インドア選手権で優勝(16日) 奈良くるみがリオデジャネイロ・オープン優勝 (23日)	
3		第5回エリア研修会 参加:東85名、中央92名、西67名 本部テーマ:tennis Xpress 【東エリア】会場:仙台市泉総合運動場体育館(宮城県) 本気のラジオ体操/ルール講習 【中央エリア】会場:大阪市鞠テニスセンター(大阪府) 膝関節痛予防のための体幹及び下肢トレーニング/ルール講習 【西エリア】会場:広島県立総合体育館武道館(広島県) テニスにおけるウォームアップ&クールダウン	3	第11回冬季パラリンピック・ソチ大会 (7日～16日)	
4		第9回全国親睦テニス講習会「サエラ2014愛知」(1日・2日) 会場:東山公園テニスコート(愛知県) 参加:1日目 78名、2日目 92名	4	消費税が5%から8%に引き上げ(1日) 錦織圭がバルセロナ・オープンで優勝(27日)	
5		第17回井上早苗杯GOGOテニスフェスティバル2014(15日・16日) 会場:総合スポーツセンター(群馬県) 参加:170名	5	上地結衣がダブルスでも1位になる(9日)	
6		第33回日韓親善女子テニス大会(2日～4日) 会場:ダイヤモンド・テニスクラブ学園前(奈良県) 【韓国チーム】 団長:裴俊英 監督:韓允子 【日本チーム】 団長:飯田藍 監督:岩田祐加子	6	富岡製糸場と絹産業遺産群が世界遺産登録 (21日)	
7		第7回会長杯グリーン・ヴィーチームテニス'14 in 鳥取(2日・3日) 会場:コカ・コーラウエストスポーツパーク(鳥取県) 参加:128名	9	錦織圭が全米オープン準優勝(8日) 御嶽山が大噴火(27日) 錦織圭がマレーシア・オープンで優勝(28日) 西岡良仁が第17回アジア大会(仁川)で 金メダル(30日) 日本人40年ぶり	
8		高木陽子副会長 73歳でご逝去(12日)	10	東海道新幹線開業から50周年(1日) 錦織圭が楽天ジャパンオープンで優勝(5日) 赤崎勇・天野浩・中村修二が ノーベル物理学賞を受賞(7日) 東京オリンピック開催から50周年(10日)	
9		賛助後援会・一泊親睦テニス旅行会(3日・4日) 会場:日居城野テニスコート(岩手県) 参加:66名	11	錦織圭がATPワールドツアー・ファイナルに出場(9日) アジア人初	
10		高木陽子副会長を偲ぶ会(20日) 会場:藤沢商工会館ミナパーク(神奈川県)	12	東京駅開業から100周年(20日)	
11		第12回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会(21日・22日) 会場:荏原湘南スポーツセンター(神奈川県) マンモバス検診を4カ所で開催			
	第6回JLTFクレストレディーステニスbyカーブス(27日・28日) 会場:昭和の森テニスセンター(東京都) 参加:150名				

年	月	日本女子テニス連盟の歴史	支部結成	月	社会・テニス界の出来事
2014 (H26)		講習会開催：18支部 参加：805名 東北復興支援活動：山形・福島・岩手・宮城 参加：262名	会員数 33,069		
	2	2014年度定時総会(18日) 会場：東京体育館(東京都) 会長：飯田藍 副会長：武正八重子 理事長：小泉弘子 クレスト委員会を新設 JLTfロゴマークの商標登録が完了(20日)		1	韓国女子テニス連盟の会長が逝去(31日)
	3	第6回エリア会議・第6回エリア研修会 参加：東90名、中央90名、西76名 本部テーマ：tennis Xpress /ダブルスゲームへの導入方法 【東エリア】会場：味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都) AED講習/救命救急法 【中央エリア】会場：名古屋市東スポーツセンター体育館(愛知県) AED講習/救命救急法、三角巾を使用した包帯法 【西エリア】会場：唐津市文化体育会館(佐賀県) テニスにおける体幹トレーニング		2	錦織圭がメンフィス・オープンで優勝(16日)
	5	第18回井上早苗杯GOGOテニスフェスティバル2015(13日・14日) 会場：羽鳥湖高原レジーナの森テニスコート(福島県) 参加：190名		3	錦織圭がATPランク4位(2日) 北陸新幹線(東京～金沢)開業(14日) 東京上野ラインも開業(14日) クロネコヤマト メール便廃止(31日)
	6	第34回日韓親善女子テニス大会(2日～4日) 会場：オリンピック公園室内競技場(ソウル市) 【韓国チーム】 団長：鄭禧子 監督：韓允子 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：小泉弘子 日本オリンピック委員会(JOC)の女性スポーツ賞を受賞(12日) 第10回全国親睦テニス講習会「サエラ2015青森」(24日・25日) 会場：新青森総合運動公園(青森県) 参加：197名		4	ネパールで大地震 M7.8(25日) 錦織圭がバルセロナ・オープンで優勝(26日)
2015 (H27)	7	第8回会長杯グリーン・ヴィーチームテニス'15 in 鹿児島(9日・10日) 会場：県立鴨池庭球場(鹿児島県) 参加：132名 口永良部島避難児童のためのTENNIS PLAY&STAY講習会開催(11日・12日)		5	錦織圭が全仏でベスト8(31日)
	8	飛騨シューレ スポーツワーク「テニスであそぼう！」TENNIS PLAY&STAYに協力(2日) 会場：飛騨市神岡町、古川町(岐阜県)		7	「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録決定(8県23カ所)(5日)
	9	賛助後援会・親睦テニス旅行(1日・2日) 会場：ホテルソラージュ大分日出(大分県) 参加：89名		8	錦織圭がワシントンD.C.でのシティ・オープンで優勝(9日)
	10	第13回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会(20日・21日) 会場：荏原湘南スポーツセンター(神奈川県) マンモバス検診を7箇所実施		10	日比野菜緒がタシケント・オープンで優勝(3日) 大村智がノーベル医学・生理学賞受賞(5日) 梶田隆章がノーベル物理学賞受賞(6日) 土居美咲がルクセンブルク・オープンで優勝(25日) 内村航平が世界体操選手権で個人総合6連覇を達成(30日)
	11	ソニー生命カップ第37回全国レディーステニス全国決勝大会(12日～14日) 会場：昭和の森テニスセンター(東京都) 協賛に株式会社岡村製作所が加わる 本年より都道府県予選会場にて TENNIS P&S ファミリープログラムがスタート JLTfオリジナル絵本「あかほつべのタマちゃん」完成(14日) 故・大塚節子元顧問の寄付金により制作 社会福祉法人 福田会のミニラケットキーホルダー販売に協力開始 第7回JLTfクレストレディーステニスbyカーブス(25日・26日) 会場：万博テニスガーデン(大阪府) 参加：130名 講習会開催：9支部 参加：640名 東北復興支援活動：宮城 参加：85名	会員数 32,438		
	2	2015年度定時総会(17日) 会場：東京体育館(東京都) 平成27年度JOC「総務委員会フォーラム」で飯田藍会長がJLTfの活動を報告(22日)		2	錦織圭がメンフィス・オープンで4連覇(14日)
	3	第7回エリア会議・第7回エリア研修会 参加：東94名、中央77名、西81名 本部テーマ：[tennis 10s] 導入から発展メニュー 【東エリア】会場：味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都) テニスプレーヤーのための体幹トレーニング 【中央エリア】会場：いしかわ総合スポーツセンター(石川県) 骨ストレッチ 【西エリア】会場：サンピアセリーズ(高知県) スポーツにおけるメンタルトレーニング		3	北海道新幹線(新青森～新函館北斗)開業(26日) 安全保障関連法 施行(29日)
	4	熊本地震救援の募金活動を開始		4	障害者差別解消法 施行(1日) 平成28年熊本地震 M7.3(16日) 14日にM6.5の前震あり
	5	第19回井上早苗杯GOGOテニスフェスティバル2016(11日・12日) 会場：岩国市運動公園テニスコート(山口県) 参加：190名		5	オバマ氏が広島平和記念公園で献花(27日) 現職のアメリカ合衆国大統領として初
2016 (H28)	6	35周年記念国際親善女子テニス大会(15日～17日) 会場：昭和の森テニスセンター(東京都) 【アメリカチーム】 団長兼監督：井上誠子 【韓国チーム】 団長：鄭禧子 監督：李順五 【日本チーム】 団長：飯田藍 監督：樗木聖 第11回全国親睦テニス講習会「サエラ2016福井」(22日・23日) 会場：トリムパークかなづ(福井県) 参加：48名		7	上野国立西洋美術館が世界遺産登録(17日)
	7	第9回会長杯グリーン・ヴィーチームテニス'16 in 千葉(5日・6日) 会場：フクダ電子ヒルスコート(千葉県) 参加：248名		8	第31回オリンピック・リオデジャネイロ大会(5日～21日) 錦織圭が銅メダル(日本人として96年ぶり)
	9	賛助後援会・親睦テニス旅行(1日・2日) 会場：松山中央公園(愛媛県) 参加：83名		9	第15回パラリンピック・リオデジャネイロ大会(7日～18日) 上地結衣が銅メダル 国枝慎吾・齋田悟司組が銅メダル 大坂なおみが東レPPOで準優勝(25日)
	10	第14回ピンクリボンレディーステニス全国決勝大会(18日・19日) 会場：荏原湘南スポーツセンター(神奈川県) マンモバス検診を6カ所実施		10	大隅良典がノーベル医学・生理学賞を受賞(3日) 阿蘇山が爆発的噴火(8日) 広範囲に降灰 鳥取県中部を震源地とするM6.6の地震発生(21日) 三笠宮崇仁親王殿下が100歳でご逝去(27日)
	11	ソニー生命カップ第38回全国レディーステニス全国決勝大会(10日～12日) 会場：昭和の森テニスセンター(東京都)			
	12	第8回JLTfクレストレディースbyカーブス2016(7日・8日) 会場：万博テニスガーデン(大阪府) 講習会開催：8支部 参加：517名 東北復興支援活動：青森・福島・宮城・岩手 参加：322名			